一問一答方式による一般質問

コロナ禍における心のケア

髙橋　光孝

問　他の市町では感染が確認された方を特定し誹謗中傷し、引越しを余儀なくされたという話もある。市内で同様の事例はないか伺う。

総務部長　市内におけるそういった誹謗中傷などの事例は把握していません。

問　そのような誹謗中傷やいたずらなどが起こらないように、どのような対策を行っているのか、また、これから行っていくのか伺う。

総務部長　国や県の情報を基に市民に正しい情報が伝わるように周知に努めてきました。今後も正しい情報の発信に努め、差別などがないように啓発を行います。

問　保育所や小中学校でそのような事例が出た場合の対応と、そのような事例が起きないための具体的な対策を伺う。

教育長　学校の中で、子どもたちに対しての差別とかそういった内容に、人権に留意した教育を行っています。お互いに思いやりのある学校にしていきたいと思います。

健康福祉部長　保育所においては、感染症に関するお知らせを発出しており、思いやりの心を持って冷静な対応を呼びかけています。今後も啓発に努めていきます。

コロナ禍での自殺対策は

問　警察庁の発表で、10月の自殺者が昨年比40％増えており、男女別では男性が21％、女性が82・6％と女性の増え方が目立っている。このコロナ禍で、岩沼市では具体的にどのような対策をとっているのか伺う。

社会福祉課長　ゲートキーパー養成を行っており、自殺の危険を示すサインを出した場合については寄り添った形で対応を行います。

問　自殺者を防ぐために異変やサインを見逃さず気付く事の啓発を行うべきではないか。

市長　必要なアドバイスをできるような人につなぐということが大切だと思っています。できるだけ情報を共有しながらこの問題に向かっていきたいと思います。

◎その他の一般質問
・朝日山公園・荒井堤

補助金

佐藤　淳一

問　補助の目的について伺う。

総務課長　公益上必要で市が金銭的給付を行い、行政目的を効果的かつ効率的に達成することです。

問　（市が単独で補助する）団体運営費補助金、事業費補助金について、それぞれの補助数と補助額について伺う。

総務課長　令和元年度の実績で団体運営費補助金は80件、約1億634万円。事業費補助金は36件、約8735万円です。

問　補助金交付（創設から）10年以上、さらに20年以上経過しているなど、補助が長期に渡っている実態（割合等）について伺う。

総務課長　補助開始から10年以上経過している割合が約11％、20年以上は約54％にもなります。

問　同じ事業に長期間補助金が交付され既得権益化し、新規の市民ニーズに補助金が対応できていないことが考えられるが、その対応はしているのか伺う。

総務課長　行政目的にかなった事業に対して交付しています。

問　補助金による事業の効果はどのように検証しているのか伺う。

総務課長　所管部署及び補助金適正化会議で、事業の公益性、効果性、団体等の適格性等についての評価を行い、継続、終期設定、減額、廃止等の判定をしています。

問　補助金を出して終わりではなく、効率的な活用、使途内容の透明化、（補助）団体の発展策など、税金を託す側である市が助言や指導を積極的に行うべきと考えるが、交付先団体への助言や指導はどのように行っているのか伺う。

総務課長　所管部署で要綱等に合致しているかなど、必要に応じた助言、指導を行っています。

さらなる透明化必要では

問　交付の根拠となる統一した指針を定め、審査基準を明確にして透明化を推進すべきではないか。

総務課長　他自治体の取組事例なども参考に、審査基準の見直しを研究したいと考えます。

◎その他の一般質問
・仙台空港周辺地域の振興と環境整備